

	号外	定価 1部2円	一戸町議選 峠勇男さん (県本部組織内) 見事3位当選を 果たしました。皆 様のご支援に感 謝します。
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	

13 確定闘争情報 - ⑪

5級最高号給者の解消

主幹任用の拡大を引き続き検討

任期付職員の処遇改善 昨年度採用者の5年への延長を検討

県職労は8日、大槻人事課総括課長と今秋3度目の交渉を行い、5級最高号給者の解消をはじめとする独自課題を中心に、県職労の要求に対する検討状況を質した。

大槻課長は「これまでの任用で最高号給者解消への効果はみられる」として引き続き主幹任用の検討を進めていく考えを示した。また、県職労が昨年から求め続けてきた任期付職員の処遇改善に関し、昨年度採用した任期付職員の任用期間を5年に延長することを前提に本人への意向確認をはじめていく考えを引き出した。

県職労は本日、総務部長交渉を実施し、確定闘争における秋季の最終回答を引き出すとともに、職場代表者から切実な現場の実態を訴える場を設けながら、職場環境の改善を求めていく。(交渉での回答内容は以下のとおり)

5級最高号給者の解消

これまで主幹任用の拡大に努力してきたが、2006年以降の行政職5級に占める最高号給者の割合は、ピーク時で60%超(上位4号では70%超)だったものが、本年4月では最高号給で51%(同57%)まで減少しており、一定の成果があったものと考えている。私共も課題認識は持っており、これまで同様に任用面での配慮を行えないか上司と相談させていただきたい。

雇用と年金の接続に向けた新たな再任用

再任用の希望には十分な配慮をもった対応が必要と考えている。再任用者の給与は、これまで同様、任用される職の格付けに応じて職務の級を決定する。(退職時の級から〇級下位での格付け…などの機械的な格付けは行わない)

通勤手当の改善

ガソリン価格の変動状況や消費増税に伴う価格上昇は注意深く見ていく必要がある。交通機関利用において全額支給できる上限額が東北の他県と比して低いとのご指摘に関しても、課題意識をもって引き続き研究していきたい。

任期付職員の処遇改善

募集当初に2年間の任期の更新を行うことができる旨示していたが、復興業務が今後も必要な状況に鑑み、まずは昨年度の採用者について、本人の希望等を踏まえた上で2年間の更新を行うことを前提に、今年度の人事ヒアリングの際に意向を確認していきたい。

このほか、地公共闘の交渉で回答を求めている「50歳台後半層の昇給抑制」の課題についても、任命権者たる人事課総括課長としての考え方を質した。大槻課長は5日の地公共闘による交渉と同様に「昨年の人事委員会勧告を尊重することを基本とするが、1月昇給の他県の状況を見ながら、提案時期も含めて上司と相談する」と回答した。県職労はこれに対し「職場をリードする世代が抑制の対象だが、今は復興に向けて職員全体で踏ん張っていく必要のある時期。被災県たる岩手県の特特殊性を捉え、安易に他県に倣って抑制を決めることのないよう求める」と指摘した。



退職者の再任用 本人の希望を踏まえて十分に検討 現業評議会が退職者・欠員の補充を要望

現業評議会（議長：遠藤哲美・管財課分会）は8日、今年度末で退職を迎える管財課・盛岡土木・久慈土木の運転技士の確実な補充と、欠員となっている畜産研究所の技能員の早期補充を求めて交渉を行った。

■ 今年度末退職者の補充

《現業評》本人の再任用希望を優先し、退職者を正規職員で完全補充されたい。

【大槻課長】再任用は本人の希望を踏まえて十分に検討していきたい。現場の運転技士が少なくなってきたことは承知しているが各部の組織定数の計画も踏まえて対応したい。

■ 畜産研究所（鶏舎）の欠員補充

《現業評》臨時職員で対応しており、定数が埋まっていない。早期に補充されたい。

【大槻課長】当該部局とも協議しながら検討してまいりたい。

《現業評》現場は以下のような状況。切実な問題だ。

- ・ 欠員のため正規は2人体制。年中業務があり交代で休む必要のある職場のため、2人が揃うのは週に3日のみ。自分の体調や家族のことよりも業務を優先せざるを得ない。
- ・ 退職不補充のため9年間後輩がおらず将来が不安だったが、今年の採用で安心して仕事ができている。なんとか鶏舎にも補充してほしい。

【大槻課長】職場の状況をあらためて認識した。技術伝承が必要な職場ということも理解している。部局からもよく話を聞きながら努力させていただきたい。

《現業評》公募が遅くなると、せつかくの人材も就職先が決まってしまう。将来をしっかりと担ってもらうためにも、できるだけ早い時期に公募を行うようお願いする。